

5 カ国患者団体国際共同調査

働きながら不妊治療を受ける患者さんのうち

4割が退職もしくは退職を検討

企業による不妊治療と仕事の両立支援に改善の余地

- 本国際共同調査により、不妊治療を受けながら働く人の約40%が「退職、または退職を検討した」ことが明らかになりました。¹
- 従業員と企業の間で、不妊治療を「重要なライフイベント」と捉える認識に大きな乖離が存在しています
- 日本では特に、他の4か国に比べて職場で不妊治療について相談しにくい環境が、支援を受ける機会を妨げています
- 調査結果は、企業に対し、制度整備にとどまらない行動変容と職場文化の変革を求める明確な支援改善の必要性を示しています

東京, 日本 – 2026年4月22日 – フェリング・ファーマ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：ジョン・プルバー、以下「フェリング・ファーマ」）は、特定非営利活動法人 Fine（ファイン：東京都江東区木場 6-11-5 サニーコーポ K201、理事長：野曾原誉枝）、特定非営利活動法人 FORECIA（フォレシア：秋田県秋田市中通二丁目 2-32 山ニビル 6F、代表理事：佐藤高輝）を含む5つの患者支援団体とともに実施された国際共同調査「仕事と不妊治療の両立に関する国際調査（The Impact of Fertility Challenges at Work: International Insights）」（5か国・サンプル数 従業員 3,030人、企業担当者 639人）を、フェリング・グローバルとともに支援しました。

調査結果の詳細については、NPO Fine のニュースリリースをご覧ください。 https://j-fine.jp/prs/prs/fertility_at_work_international-insights-2025.pdf

不妊治療は「個人的な問題」ではなく、重要なライフイベント

調査によると、不妊治療を「人生における重要なライフイベント」と認識している従業員は96%以上にのぼる一方で、「職場でそのように認識されている」と感じている従業員は27%にとどまることが判明しました。一方で、企業側の約75%は「不妊治療を重要なライフイベントとして認識している」と回答しており、ここには企業の“認識しているつもり”と、従業員の“実際の体験”との間に大きなギャップが存在しています。

この認識の乖離こそが、支援制度が十分に活用されず、結果として人材流出や企業へのエンゲージメント低下につながっている構造的課題である可能性が、今回の調査から浮き彫りになりました。

日本における特徴的な課題：話せない職場文化

日本では特に、不妊治療がメンタルヘルスに影響すると回答した人が8割以上、不妊治療について「職場で誰にも話していない」と回答した人が43%という結果が示されています。

その理由として、「個人的なことだと思われる」「話すことに不安がある」「職場に支援を期待できない」といった声が挙げられました。これらの結果は、支援制度の有無以前に、「安心して話せる環境」そのものが不足しているという日本固有の課題を示唆しています。

企業に求められる次の一歩

今回の国際調査は、制度を整えるだけでは十分ではなく、経営層・人事・管理職を含めた組織全体の理解と行動が不可欠であることを明確に示しています。患者支援団体およびフェリングは、働きながら不妊治療している従業員を抱える企業に対し以下の行動を提案いたします。

- 不妊治療を「個人の私事」ではなく、重要なライフイベントとして明確に位置づけること
- 上司・管理職を含む全社的な理解促進と教育の実施
- 治療について話しても不利にならず、話さなくても支援を受けられる職場環境の整備

これらの取り組みは、従業員一人ひとりの尊厳を守るだけでなく、人材確保・定着、継続的な企業価値の向上にも直結する重要な経営課題です。

患者の声を起点にしたフェリングの取り組み

フェリング・ファーマは、生殖医療領域のリーディングカンパニーとして、患者さんの声に基づいた社会課題の可視化と、職場における実効性ある支援の在り方を提示することが重要であると考えています。「**Building Families at Ferring**」をはじめとする社内制度の整備に加え、本調査のような患者団体主導のエビデンス創出を支援し、企業や社会全体の行動変容を後押しすることも、フェリングの重要な役割です。

フェリング・ファーマの代表取締役社長 CEO、ジョン・プルバーは次のように述べています。「フェリングでは、職場において、不妊治療の過程全体を通して、思いやりと実践的なサポートを提供することに尽力しています。日本だけでなく、他の4カ国からの参加者からの貴重な知見も盛り込まれたこの調査は、従業員が直面する真の課題を明らかにし、明確な方針、オープンな対話、そして不妊治療を人生における重要なイベントとして認識する職場文化の必要性を浮き彫りにしています。」

▽フェリングの職場における不妊治療と家族形成支援への取り組み「Building Families at Ferring」について

フェリングでの家族形成支援は、家族を築こうとする従業員を支援するためにフェリングが導入したグローバルな福利厚生パッケージです。2022年7月に開始されたこのプログラムには、出産する親と出産しない親の双方に最大26週間の有給育児休暇、不妊治療に対する経済的支援、職場での包括的なサポートやカウンセリングが含まれています。

フェリングはまた、企業が不妊治療や家族形成に配慮した職場環境を整備するためのガイドンスを提供する研究にも投資しています。『不妊と家族形成：職場におけるメンタルヘルス支援のギャップを埋める』という企業向けガイドラインでは、従業員が家族形成の過程で心の健康を保つために企業が取るべき実践的なステップを示しています。

さらにフェリングは、国連人口基金（UNFPA）が主導する「ビジネスにおける生殖の正義のための連合」の創設メンバーであり共同議長を務め、職場における性と生殖に関する健康と権利への民間企業の行動と投資を促進するという目標を支持しています。

▽フェリング・グローバルについて

フェリングは、人々が家族を築き、より良い生活を送れるようになることを目標に掲げる、株式非公開の研究主導型スペシャリティファーマです。フェリングは生殖医療領域のリーダーであり、消化器領域および泌尿器領域において力強い存在感を示してきました。さらに泌尿器がん領域の先端技術の frontline にいます。フェリングは、1950年設立であり、スイスのサンプレに本社を置き、世界100カ国以上で製品を販売し、約7,500名の従業員を擁しています。

▽フェリング・ファーマ株式会社について

フェリング・ファーマ株式会社はフェリング・グローバルの子会社として2001年2月に設立され、本社は東京都港区です。

詳細は [Home - Ferring Japan](#), および [Japan| LinkedIn](#) をご覧ください。

フェリング・ファーマは不妊治療疾患知識や、調査データを含む患者さん向け情報サイト (<https://infertility.ferring.co.jp/>) を運営しています。

▽Fertility Matters at Work について

**Fertility Matters at Work (FMAW) **は、職場で不妊治療に取り組む際の課題を身をもって経験した3人の女性によって2020年に設立された、英国拠点の非営利ソーシャルエンタープライズです。FMAWは、英国および世界の企業と提携し、包括的な「Fertility Friendly Employer（不妊治療に配慮した企業）」認証プログラムを通じて、不妊治療に優しい職場づくりを推進しています。

そのアプローチには、ポリシー策定とガイダンス、啓発キャンペーン、ラインマネージャー向け研修、ピアサポートネットワーク、従業員教育、eラーニングモジュール、実践的なリソースが含まれ、すべてが不妊治療に関する支援的な慣行と文化を育むことを目的としています。

さらに、直接的な企業支援にとどまらず、FMAWは英国議会で引用された研究や、メディアプラットフォームや業界イベントでのリーダーシップを通じて、システム全体の変革を推進し、職場における不妊治療支援の分野で先導的な存在となっています。

▽This Can Happen について

This Can Happen は、企業が職場におけるメンタルウェルビーイングを理解し、教育し、測定することを世界規模で支援しています。私たちは、グローバル企業にとって信頼できるパートナーとして、メンタルウェルビーイングを優先し、従業員にとって支援的な環境を整えることを可能にしています。

私たちは、職場が従業員をより良く支援するために取り組むべき領域に関するデータを収集するインサイトプロジェクトを実施しています。過去の調査では、職場での「悲嘆（グリーフ）への支援方法」に焦点を当てました。

詳細については、<https://www.thiscanhappenglobal.com/> または hello@thiscanhappenglobal.com までお問い合わせください。

###

▽問い合わせ先; フェリング・ファーマ株式会社 パブリックアフェアーズ&コミュニケーションズ キーアカウントマネジメント部 柳場 義豊 03-5544-9237,
yoshimitsu.yanagiba@ferring.com

¹ https://j-fine.jp/prs/prs/fertility_at_work_survey-2025_report.pdf